

畦削機

B-740

取扱説明書



ご使用前に必ずお読みください

株式会社 富士トレーラー製作所

2019年1月

はじめに

このたびは、畦削機B-740を買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書には正しい取り扱い方法と安全操作方法について詳しく記載してあります。
畦削機をご使用になる前に本書の全ての項目を熟読の上、よくご理解を頂き、安全に作業を行ってください。

◎ 注意表示について

使用上、特に重要と考えられる注意事項について、下記のように表示しています。必ず守り作業をしてください。

 **危険** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** 注意事項を守らない場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** 注意事項を守らない場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

◎ 本製品(畦削機 B-740)の使用目的

- 水田の畦削りに使用し使用目的以外の作業には、決して使わないでください。
- 畦削機は決められた適応馬力で設計しています。
適応馬力の範囲内で使用してください。範囲を超えての使用は故障の原因になります。
- 畦削機は「標準3点リンク」「特殊3点リンク」で設計しています。他の規格では装着ができません。
- 畦削機の改造は決しておこなわないでください。

目次

安全に作業をするまえに	1	手入れと点検の仕方	9
主要各部の名称と動きについて	3	1. 水洗い	9
各部品組立	3	2. オイルの点検と交換	9
1. ヒッチ金具の組立	3	3. 消耗品について	10
トラクターへの装着の仕方	4		
1. トラクター装着の規格について	4		
2. 日農工標準、特殊3点オートヒッチの装着順序	4		
3. 日農工標準、特殊3点オートヒッチの取外し順序	5		
4. 標準3点リンクの装着手順	5		
5. 標準3点リンクの取外し手順	7		
移動時の注意	7		
運転作業及び畦削機作業時の調整の仕方	8		
1. トラクター各部調整	8		
2. 尾輪の調整	8		
3. 蔓絡み防止部品「ロッド」	8		

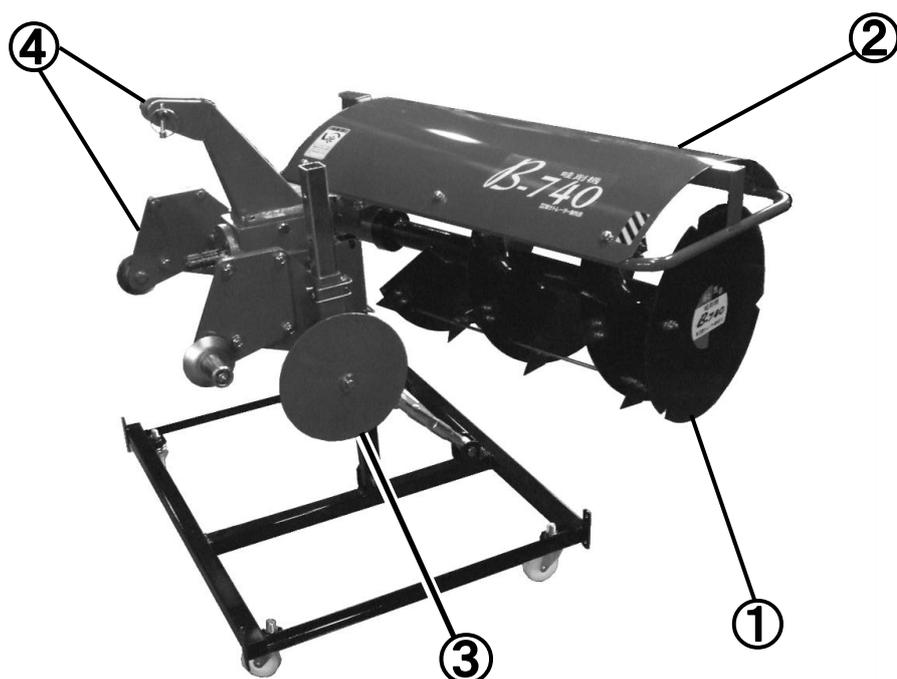
【 安全に作業をするまえに 】

本機をご使用になる前に、「取扱説明書」をよく読み注意事項を守り、安全に作業をしてください。

<p>運転まえの注意事項</p>	<p>1) こんなときは運転しない 病気のときは、運転しないでください。 飲酒時や気分がすぐれず集中できないときは、運転しないでください。</p> <p>2) 作業時の服装 だぶついた服装での作業はしないでください。 腰タオル、首巻きタオル、はちまきはしないでください。 サンダルなど、脱げやすい靴ははかないでください。 ヘルメットを着用してください。 <u>▲機械に巻き込まれたり、すべって転倒する原因になります。</u></p> <p>3) 畦削機を他人に貸すときは取扱の説明をする 畦削機を他人に貸すときは、操作のしかたを教え取扱説明書を必ず読むようにしてください。 <u>▲あやまった使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p> <p>4) トラクターに畦削機を装着する前にはトラクターの取扱説明書を読む トラクターに畦削機を装着する前にはトラクターの取扱説明書を読み畦削機に適した操作方法を確認してから畦削機を装着してください。 <u>▲あやまった使い方をすると事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p> <p>5) 重量バランスを確認して調整をしてください。 トラクターに畦削機を装着するときは、重量バランスを確認して、必要な場合は、トラクターにバランスウェイトを取り付けてください。</p> <p>6) はし板(アユミ板)は、強度・長さ・幅の十分余裕のあるものを使用する 積み込み、積み降ろしをするときまたは、ほ場で使用するときは、確実に固定してから低速で行ってください。はし板(アユミ板)は、段差の4倍以上の長さのものを使用してください。 <u>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</u></p>
<p>運転まえの注意事項</p> <p> 注意</p>	<p>1) 畦削機装着時には公道の走行は禁止 畦削機装着時には公道の走行は禁止です。走行はしないでください。 必ず、畦削機を取り外して走行してください。 <u>▲道路運送車両法違反になります。事故をおこすおそれがあります。</u></p>

<p>運転まえの注意事項</p>  <p>注意</p>	<p>2) 畦削機の改造は禁止</p> <p>畦削機の改造はしないでください。純正部品以外は取付ないでください。</p> <p>▲事故や機械の破損をまねくおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p>  <p>警告</p>	<p>1) 点検・整備・修理・掃除はトラクターのエンジンを停止する</p> <p>点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態でおこなうときは、トラクターのエンジンを停止してください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて、事故をおこすおそれがあります。</p>
<p>点検・整備の注意事項</p>  <p>注意</p>	<p>1) 点検・整備をする</p> <p>畦削機を使用する前と後には点検・整備をしてください。</p> <p>▲機械の早期破損をまねくおそれがあります。</p> <p>2) 点検・整備は平らで安定している場所でおこなう</p> <p>交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない平らで安定している場所でおこなってください。</p> <p>▲機械に巻き込まれて、事故をおこすおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p>  <p>警告</p>	<p>1) 畦削機の脱着は平らで安定している場所でおこなう</p> <p>畦削機の脱着は平らで安定している場所でおこなってください。</p> <p>2) トラクターと畦削機の周辺に人を近づけない</p> <p>トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>3) 畦削機の下にもぐったり、足をいれない</p> <p>畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p> <p>4) 畦削機に巻き付いた草やワラを取るときはエンジンを停止させる。</p> <p>回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから、作業をおこなってください。</p> <p>▲回転部分に巻き込まれて、死亡事故やケガを負うおそれがあります。</p>
<p>作業時の注意事項</p>  <p>注意</p>	<p>5) 畦削機の調整はエンジンを停止しておこなう</p> <p>畦削機の調整をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけて、PTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してからおこなってください。</p> <p>▲事故を起こすおそれがあります。</p>

【 主要各部の名称と働きについて 】



① オーガ

畦を削ります。

藁絡み防止部品(ロッド)付き

② ガード

作業の安全性を高めます。

③ 尾輪

作業時の直進性を高めます。

④ ヒッチ金具

ワンタッチ方式、標準3点リンク方式

各々で形状が違います。

【 各部品を組立て 】

各部品を組み込んでください

1. ヒッチ金具の組立

ヒッチ金具は、トラクターによって取付方が違います。取付方は、ヒッチ金具の入っていた段ボール内に、取付図面が入っています。そちらを参考にしてください。

【 トラクターへの装着の仕方 】

1. トラクター装着の規格について

- ・ 日農工標準3点オートヒッチ
- ・ 日農工特殊3点オートヒッチ
- ・ 標準3点リンク

以上3点の規格で設計しています。他の規格では装着ができません。

! 注意

- ・ トラクター装着が規格に合っているか、トラクターの取扱説明書を読んで確認してください。畦削機のヒッチ金具も規格によって、違います。合わない場合は、取付ができなかったり、畦削機の破損の原因になります。

2. 日農工標準3点、特殊3点オートヒッチの装着順序

! 警告

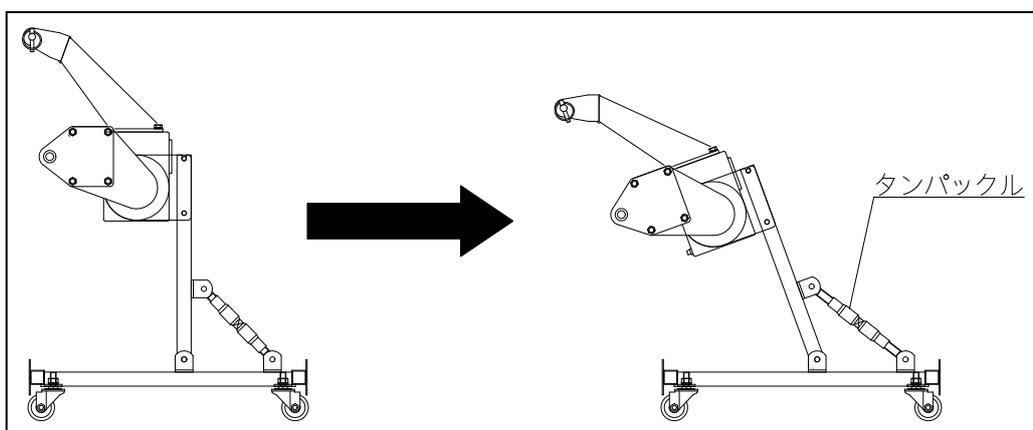
- ・ 畦削機の装着は平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。

! 注意

- ・ トラクターにより、自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。または油圧レバーは、ゆっくり上げ、トラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

1) 畦削機の装着姿勢

- ・ 畦削機のスタンドのタンパックルを伸ばし、畦削機を前傾にしてください。



2) トラクター側ヒッチのロックを解除し、畦削機ロアーピンブラケットが装着可能な状態にしてください。

3) トラクターをゆっくりバックさせながら、油圧レバーを下げ、トラクター側のトップフックを畦削機のトップマストのピンの下にくぐらせてください。

4) 畦削機ロアーリンクブラケットが左右きちんとロックされている事を確認してください。

ロアーリンクブラケット及びPTOの補助シャフトが入らない場合は、トラクターの右側リフトロッドを伸縮させて、傾きを調整してください。

3. 日農工標準3点、特殊3点オートヒッチの取外し順序

警告

- ・ 畦削機の取外しは平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。

注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。誤操作でPTO軸が回転し、事故になるおそれがあります。

1) 畦削機を移動・格納状態にしてください。

2) 畦削機にスタンドを取付け、リンクピンで固定してください。

3) トラクター側ヒッチのロックを解除してください。

4) 畦削機をゆっくり下げてください。

5) トラクター側ヒッチから畦削機ロアーピンブラケットが抜けて、トップマストのピン(畦削機側)からトップフック(トラクター側)が外れるのを確認してから、ゆっくりとトラクターを前進させてください。外れない場合は、装着ベースの前傾が適切でないか、トラクターヒッチが左右水平になっているか確認してやり直してください。

4. 標準3点リンクの装着手順

警告

- ・ 畦削機の装着は平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。

注意

- ・ トラクターにより、自動昇降装置が付いている機種があります。必ずOFFにしてください。または油圧レバーは、ゆっくり上げ、トラクターのフェンダーやキャビン等に接触しないか確認してください。

1) トラクターのロアーリンクの位置を作業機位置にしてください。

2) 畦削機のロアーピンブラケットのピンに、トラクターのロアーリンクを取り付けてください。

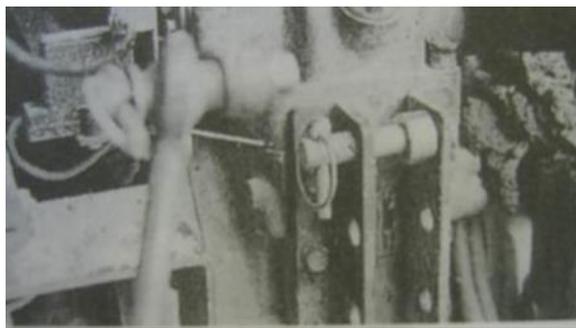
リフトレベルリングの無い方から装着してください。

3) トラクターの機種によってトップリンクホルダーの幅が広い場合があります。

そのときは、畦削機の付属部品のトップカラーを1個または、2個入れてガタ付きを調整してください。



トップカラーを入れる



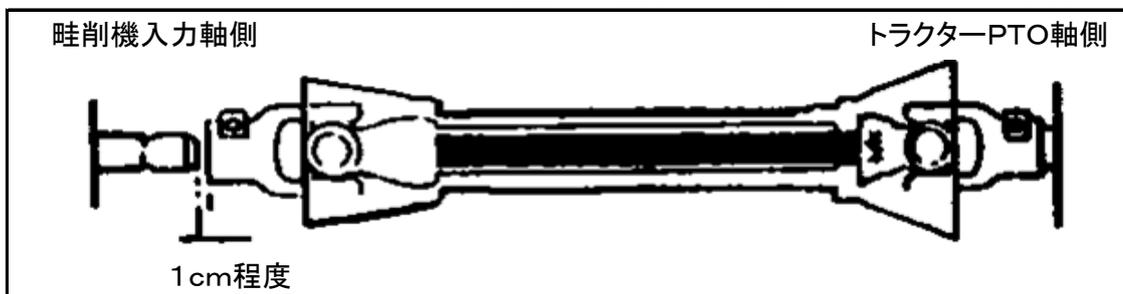
トップカラーを1個または2個入れる

4) プロペラジョイントの取付

トラクターPTO軸と畦削機の入力軸にプロペラジョイントを取付けてください。

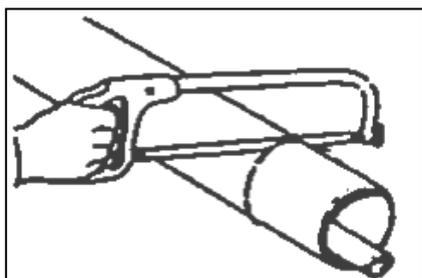
プロペラジョイントを一番縮めた状態で、畦削機側の入力軸先端とプロペラジョイントの先端との間に1cm程度の余裕を見てください。これ以上プロペラジョイントが長い場合は長い分を切断してください。

プロペラジョイントのノックピンがトラクター側、畦削機側ともに正規にロックされているか、確認してください。

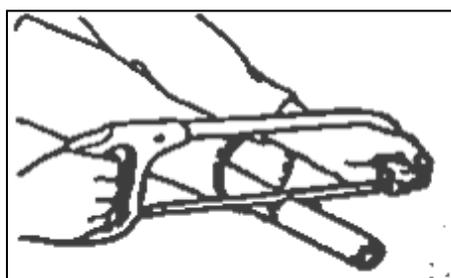


プロペラジョイントの切断方法

- ① プラスチックカバーを長い分だけオス・メス両方切り取ります。
- ② 切り取ったプラスチックカバーと同じ寸法だけシャフトの先端から切断します。
- ③ 切り口をヤスリ等でなめらかに仕上げ、シャフトにグリスを塗りオス・メスを組み合わせます。



プラスチックケースの切断



シャフトの切断

5. 標準3点リンクの取外し手順

警告

- ・ 畦削機の取外しは平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。

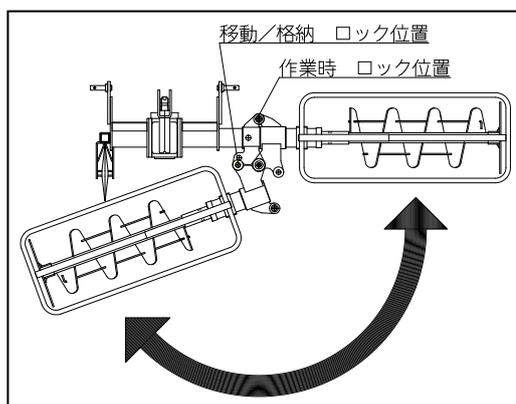
注意

- ・ トラクターのPTO変速レバーを中立にし、取外してください。誤操作でPTO軸が回転し、事故になるおそれがあります。
 - 1) 畦削機を移動・格納状態にしてください。
 - 2) 畦削機にスタンドを取付け、リンクピンで固定してください。
 - 3) 畦削機をゆっくり下げてください。
 - 4) トラクターのPTO軸からプロペラジョイントを外し、つぎに畦削機の入力軸から外します。
 - 5) 畦削機のトップマストから、トップリンクを外します。外れないときは、トップリンクの長さを調節してください。
 - 6) トラクターのロアーリンクを取り外してください。リフトレベルリングのある方から取外してください。
 - 7) トラクターをゆっくりと、まっすぐ前進させてください。

【 移動時の注意 】

警告

- ・ 畦削機装着時には公道の走行は禁止です。走行はしないでください。必ず、畦削機を取り外して走行してください。道路運送車両法違反になります。事故をおこすおそれがあります
- ・ 傾斜地での高速・急旋回は、転倒のおそれがあり大変危険です。トラクター速度を落とし、大きく回ってください。事故をおこすおそれがあります。
- ・ トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・ 畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。
 1. 畦削機を移動格納状態にしてください。
 2. トラクターの自動水平装置を解除してください。
 3. トラクターの油圧昇降レバーは、必ず上昇でロックしてください。
 4. トラクターのブレーキペダルは左右連結して走行してください。



【 運転操作及び畦削機作業時の調整の仕方 】

警告

- ・トラクターと畦削機の周辺に人が入らないようにしてください。
- ・畦削機の下にもぐったり、足をいれないでください。
- ・畦削機の調整をするときは、トラクターの駐車ブレーキをかけて、PTO変速レバーを中立にして、エンジンを停止してからおこなってください。
- ・回転部分に巻き付いた草やワラを取るときは、トラクターのエンジンを停止させてから、作業をおこなってください。

1. トラクター各部調整

エンジン回転数	2,000 ~ 2,500rpm
PTOレバー位置	1 ~ 2
作業速度	0.1~0.7km/h

※ 速度に関しては、土質にも関係しますので、目安としてください。

尚あまり速いのは、機械を引きずる感じになり、お勧めできません。

2. 尾輪の調整

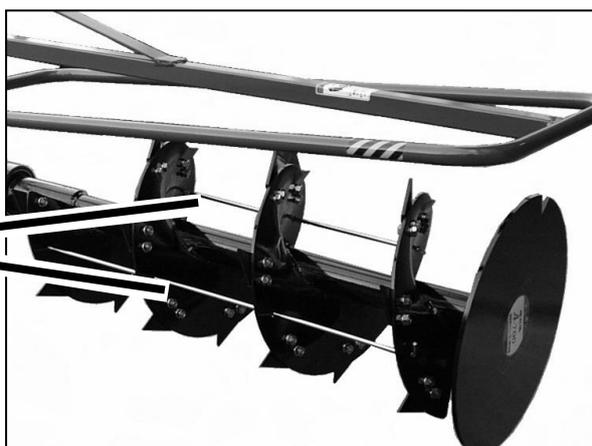
尾輪は、上下高さ調整ができます。通常は、尾輪を上げ、使用して下さい。

耕起してあったり、雨後で直進性が悪い時は、尾輪を下げて使用して下さい。

3. 藁絡み防止部品「ロッド」

藁・草 などがある場合に使用して下さい。

「ロッド」



【 手入れと点検の仕方 】

警告

- ・ 点検・整備・修理・掃除をトラクターに装着している状態でおこなうときは、トラクターのエンジンを停止してください。機械に巻き込まれて、事故をおこすおそれがあります。

注意

- ・ 交通の障害にならず安全で、機械が倒れたり、動いたりしない。平らで安定している場所でおこなってください。
- ・ 畦削機を使用する前と後には点検・整備をしてください。

1. 水洗い

作業後は、必ず洗浄をして下さい。

2. オイルの点検と交換

1) オイルの点検をして下さい。不足の場合は、ギアオイルを補給して下さい。

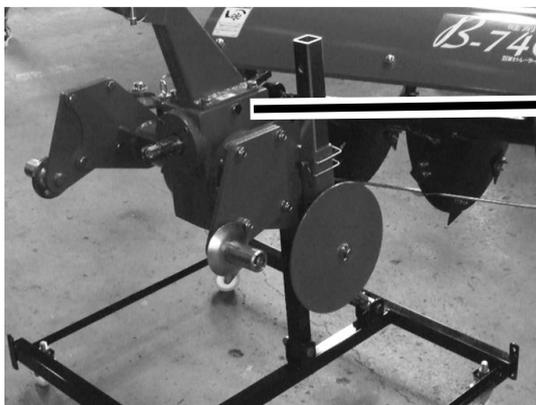
2) オイルの交換

1シーズン終了毎に、交換して下さい。

※シーズン中でも、点検の際に、交換が必要な場合は、交換して下さい。

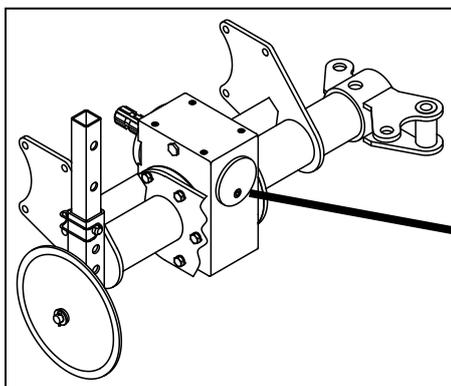
3) 使用オイル

ギアオイル ISO VG320 (#90) - 約 1.4リットル



給油口

排出口はミッション真下になります

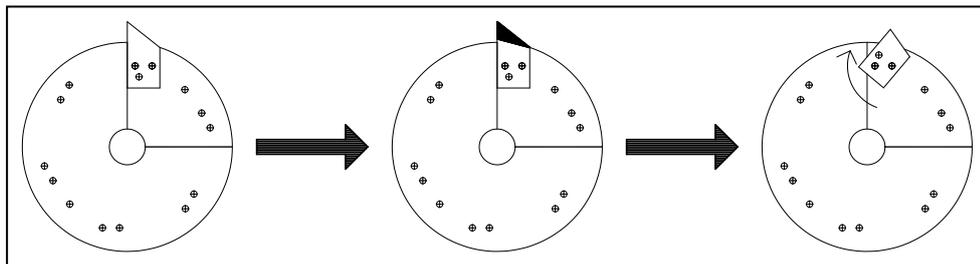


オイルレベル

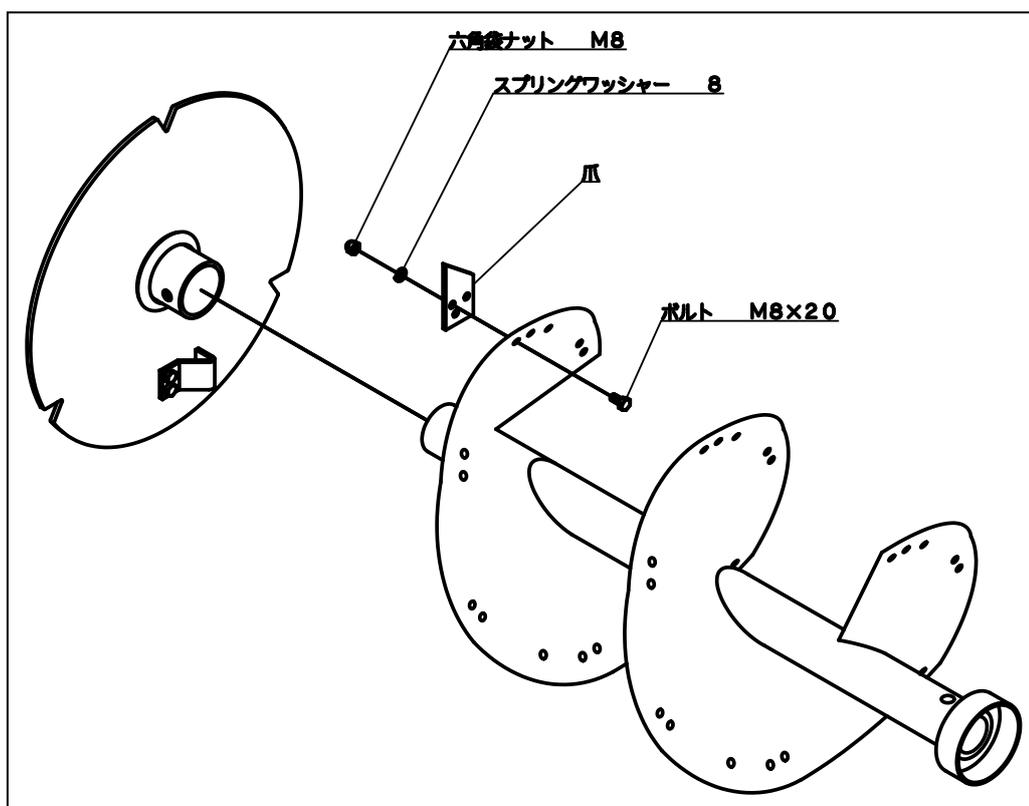
3. 消耗品について

- 爪

爪が消耗してきた場合、1回目は、爪の角度を変えることにより、もう一度使用することができます。



- 爪の取付方





株式会社 富士トレーラー製作所

〒959-0310 新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地
TEL(0256)94-5551(代) ・ FAX(0256)94-5555
<http://fuji-trailer.co.jp>

秋田営業所	／	〒014-0073	秋田県大仙市内小友字中沢263-4	TEL (0187)68-4511 (代) FAX (0187)68-4855
鷹巣営業所	／	〒018-3301	秋田県北秋田市綴子字佐戸岱5-21	TEL (0186)63-2384 (代) FAX (0186)63-2385
酒田営業所	／	〒998-0852	山形県酒田市こがね町2丁目1番地の10	TEL (0234)23-3791 (代) FAX (0234)23-3790
古川営業所	／	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字浦田137-2	TEL (0229)25-6536 (代) FAX (0229)25-6537
大宮営業所	／	〒331-0811	埼玉県さいたま市北区吉野町2丁目268番地3	TEL (048)652-3877 (代) FAX (048)652-0729
新潟営業所	／	〒959-0310	新潟県西蒲原郡弥彦村美山6606番地	TEL (0256)94-3141 (代) FAX (0256)94-5734